

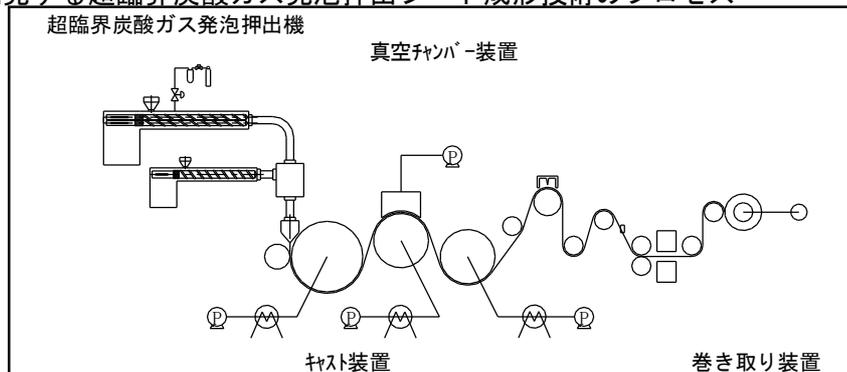
研究開発課題概要票

件名（液晶ディスプレイ装置におけるコストダウンのための新型反射板の研究開発）

— 民間基盤技術研究促進制度平成17年度新規提案 —

| | |
|----------|---|
| 受託者 | 株式会社 デュエラ |
| 研究開発終了予定 | H19年3月 |
| 研究代表者名 | 西林 利弥 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">・超臨界炭酸ガス発泡押出技術を使い、熔融ポリマーの状態に炭酸ガスを溶解分散させて、シート成形を行うことにより、シート内部に気泡を含有しながら連続成形することが可能なプロセスを開発する。・このシートは内部に5μm以下の微細気泡を含有することにより、シートの全光線反射率が良好で、反射板として好適な商品として開発することが可能である。・この微細発泡シート成形技術は、反射板だけでなく更に透明な樹脂層と組み合わせることにより、従来には存在しない新たな商品の開発が可能となる。 |

1) 開発する超臨界炭酸ガス発泡押出シート成形技術のプロセス



- ・超臨界炭酸ガス発泡押出機にて、ポリマーに炭酸ガスを浸透・分散させる。
- ・この炭酸ガス溶融ポリマーと、炭酸ガスを含まないポリマーを層状に積層し、シート成形する。更に真空チャンバー装置にて微細発泡させることにより、目的の反射板を製造する。